

岩滑区総合防災訓練に参加して

11月14日(日)岩滑区の防災訓練に、利用者5名、ヘルパー5名で参加しました。避難場所である岩滑小学校へは、途中で危険箇所がないか確認しながら移動し、グラウンドに集合。そのうちの要援護者は支援者と組んで体育館へ移動し、名前・住所等の確認、体温や血圧のチェックを済ませた後は、緊張した体を休めます。実際の災害時には、障がいを持つ人や高齢者は不安でパニック発作を起こすこともあるかもしれないので、緊張をほぐすことは大切だと感じました。知らない所へ避難する不安はリスクも大きいと思われる、せめて避難場所を知りその場所へ実際に行ってみることが必要だと思います。「知っていること」「行ったことがある場所」は安心への第一歩、今日は参加できてよかったなあと思いながら帰路につきましました。

S記

花餅づくり

12月19日りんりん茶屋にて“レッツチタ”主催「武ちゃんの花餅づくり」が開催されました。武ちゃんこと久野武顕さんに飛騨高山のお正月の飾り物“花餅”作りを教えていただきました。参加者は15名でした。白いお餅と赤いお餅を小さく丸めて枝に付けていくと、まるで梅の花が咲いたようになりました。楽しいお正月飾りの完成です。



数字川柳

びんこう
あ く よ こ い
2 9 4 5 1
あ く よ こ い こ い
2 9 4 5 1 5 1
み な に こ い
3 7 2 5 1

平成23年(2011) 1月

NO.46

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL.(0569)21-3646 FAX.(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます 皆さまの温かいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

森 裕司 榊原 照子 高山 利光 中川 佳子
伊藤 雄二 (敬称略)

平成22年度賛助会員

榊原 幸子 今泉 京子 浅井タマ子 (敬称略)

りんりん茶屋 賞します

時 間 月・木曜日 13時30分～17時
火・水・金曜日 10時～17時
料 金 1時間 1,000円
(土・日・祝日は要相談)

「作品展」「個展」「会議」など、自由にご活用ください。
衛生管理上、調理場は使えません。
お問い合わせは事務所まで。

りんりんのできごと

研修会
9月 介護事故の予防と対応44名
10月 記録の書き方・事例検討50名
11月 リラックスしよう(体操).....34名

	9月	10月	11月
総 手 紙	7名	14名	17名
さ を り 織 り	43名	27名	25名
生き活きサロン	155名	178名	179名
小 物 づ くり	13名	12名	15名

(俱へ利用人数)



会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合 計
119名	53名	54名	226名

(H22/12/31現在)

特定非営利活動法人 りんりん

りんりん

『同じ釜の飯を食う』

明けましておめでとうございます。紙面を通してお互いに出逢えるご縁に感謝いたします。

去年の暮れも押し迫った12月20日、りんりん茶屋で半田市長榊原様、副市長 藤本様を囲んで昼食会が行なわれました。きっかけは、私が市の補助金判定会議の市民委員として参加し厳しい議論を交わす中で、行政も変わろうと真剣に取り組んでいると感じたことでした。りんりんは市民の立場で“安心できるまちづくり”を17年続けていますが、行政も同じ目的に向かって歩いていること



が実感でき、この思いをりんりんのメンバーと共有したいと思いました。

市長への報告会が行われたとき、終わりのご挨拶で「どこへでも出掛けて行きます」とおっしゃった言葉

が強く心に残り“一緒にご飯を食べて下さい”とラブレターを差し上げた次第です。“出来るか出来ないか分からないことはまずはやってみる”という私の流儀が実現したうれしい日となりました。

12月りんりん茶屋で開催した“節ちゃん”の『書』個展の作品の一部をご覧いただき、節子さんの暮らしを支えるりんりんの活動の様子を担当者がお話ししました。遠い存在に思うお二人を前に皆緊張していましたが、藤本様の「もっと気楽に」という声に、その後は昔の亀崎の様子や“女”を三つ重ねてカシマシイという字になる等、なごやかな会話がはずみました。

当日の料理長は福田さん(りんりんヘルパー)です。黒大豆入りご飯をお二人が元気よくお代わりされ、手作りコンニャクのお刺身もおいしそうに召上がりしました。短い時間でしたがおいしく楽しく食べるひとときを共有できたことは有難いことでした。お帰りの時、本日の昼食代500円を私の手にのせて下さったこともご報告します。

理事長 村上真喜子

こんにちは

今が青春!!



榎原節子さん(66歳)



榎原節子さんを亀崎のお宅にお訪ねする。

りんりんのデイサービスで顔は見ているが近くでは初めて。

白髪がほとんど無い黒髪は少しだけウェーブしていて、肌がとてもきれい。瞳は少女のように澄んでいる。

インタビューに付き合ってくれた下村さんの「節子さんの肌がきれいなのは、毎日果物や野菜のジュースを飲んでるからよ」という言葉に、すかさず指でマルを作って見せて下さる。

節子さんの意志は、常にこの「指マル」で示されるのだ。

幼い頃の高熱が原因で体を自由に動かせないし言葉も話せない。12月初旬、節子さんは書の個展を、りんりん茶屋で開いた。デイサービスに通う中ではじめて書に出会った。

先生に教えられ励まされて書いた平仮名と漢字の書が、りんりん茶屋の天井と壁に貼られている。関節がうまく動かず、腕も充分上がらない彼女は、全身で筆を使うことになる。

「無」は点4つをくつつかないように書くのが大変だったとか。「心」は、最後の2つの点がまるで目のようで、心の中を覗いているみたい。

節子さんの日々の暮らしを支えてこられたご兄弟を始めご家族の方々もこの展覧会に来て下さり、中でも兄嫁さんがこれらの作品にびっくりされたそう。毎日の生活を見ておられるから思いがけなかつ



たのだらう。

お母さんが他界された後からりんりんのお付き合いが始まったのだが現在は曜日毎に予定が立てられているため「生活にリズムが出来てかえって体調がいいみたい」と下村さんは話す。節子さんは人柄が良く誰でも受け入れてくださるため、ヘルパーたちととてもいい関係を作っておられる。

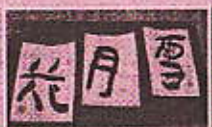
「今がせっちゃんの青春だよ」と言う下村さんの語りかけに、とてもうれしそうに大きなマルを作って見せて下さった。

※下村さんは節子さんのサービス提供責任者です。

“りんりん茶屋”節子さんの個展開催



▲CACからの取材



わたしはお休みの日にりんりん茶屋でお手伝いをしました。さいしょは、うまくできるかふあんな気持ちがたくさんあったけど、手つだうちに、だんだん慣れていってとてもうれしかったです。お手つだいをしているうちに、楽しく、おもしろくなってきて、「お客さんにもよるこんでほしい」と思うようになってきました。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などをできるだけ大きな声で言うようにしていたら、わたしの声でお店にきたと言う人がいたので、とてもうれしかったです。また、ぜひお手つだいたいと思います。

小3 あおい

ぼくは、秋まつりの手伝いに行っ、仕事はとても大変だと思いました。いつも仕事をがんばっている母さんの思いを体験してわかりました。仕事の楽しいところは、おじいさん、おばあさんといろいろな会話をしていると、いろんな自分の知らないことがわかってくるということです。それが仕事のおもしろさだなと思いました。おじいさん、おばあさんと会話をすることが大切なんだなと思いました。だからこれからもどんどんおじいさん、おばあさんと会話をしたいです。また機会があれば手伝いに行きたいです。

中2 A

●●秋まつり お手伝いの子供達の感想 ●●

私の家は南吉の生家の前にあります。秋の彼岸花の咲く頃には大勢の方が見学にみえ、家の回りが賑わいます。友人に誘われてボランティアに参加した日は“秋まつり”の初日で、まだ彼岸花も咲き初めた所で見学者も少ない日でした。「うどん」と大きく書かれた旗の取り付けから始まり簡単な作業のはずが、旗の文字がうまく見えるまでには時間がかかりました。おみやげ品のお菓子の値付けやバザーの品物の値段をきめながら、販売もしました。友達2人で電卓をたたきながらの販売は、おつりを少しまちがえたりもしたけれど楽しかったです。昼食のうどんも美味しくて、いつもはヘルパーさんをしている方達がボランティアで参加して作っていると聞き、驚きました。午後にはりんごクラブ(学童)の子たちと岩沼小学校まで遊びに行き、一日がとても早く過ぎました。私は高校卒業後介護施設への就職が決まっていますが、りんりんのような所で働いてみたいと思いました。

高3 E



“秋まつり”の一回目、とても暑い日でした。土手の彼岸花もまだまだ咲いてなくてお客様も少なかったです。お土産の品物や瀬戸物の器に職員の方と値段を決めながら値札を付けたりしていると、あっという間に時間が過ぎてしまいました。お昼頃になるとりんりん茶屋にはうどんを食べにお客様がみえました。お土産品の販売にも立ち寄っていただいて、たくさんの方と接することができて良かったです。りんごクラブの子たちとも話せて良かったです。私と仲良く接してくれた子が、夜の南吉記念館の催して会った時「お姉ちゃんだ」と声をかけてくれてすごく嬉しかったです。

2回目に参加したときはあいにくの雨で少し寒くて、お客様が来るのかと不安になりましたが、始めに参加した時より多くのお客様がみえて嬉しかったです。雨の中大きな声で「温かいうどんはいかがですか?」の声かけをしたところ、その声に足を止め、立ち寄って下さり「雨の中大変だね、ご苦労様、うどん美味しかったよ」と何人の方が声をかけてくれたのでとても暖かい気持ちになりました。クレープやうどんもたくさん食べました。とても美味しかったです。また機会があれば参加したいと思いました。雨上がりの「花嫁道中」もとても綺麗でした。

高3 S